

岡山西部総合公園(仮称)の基本設計について

概要説明[1/3] 【1】業務概要 【2】基本設計の業務フロー 【3】ワークショップの開催

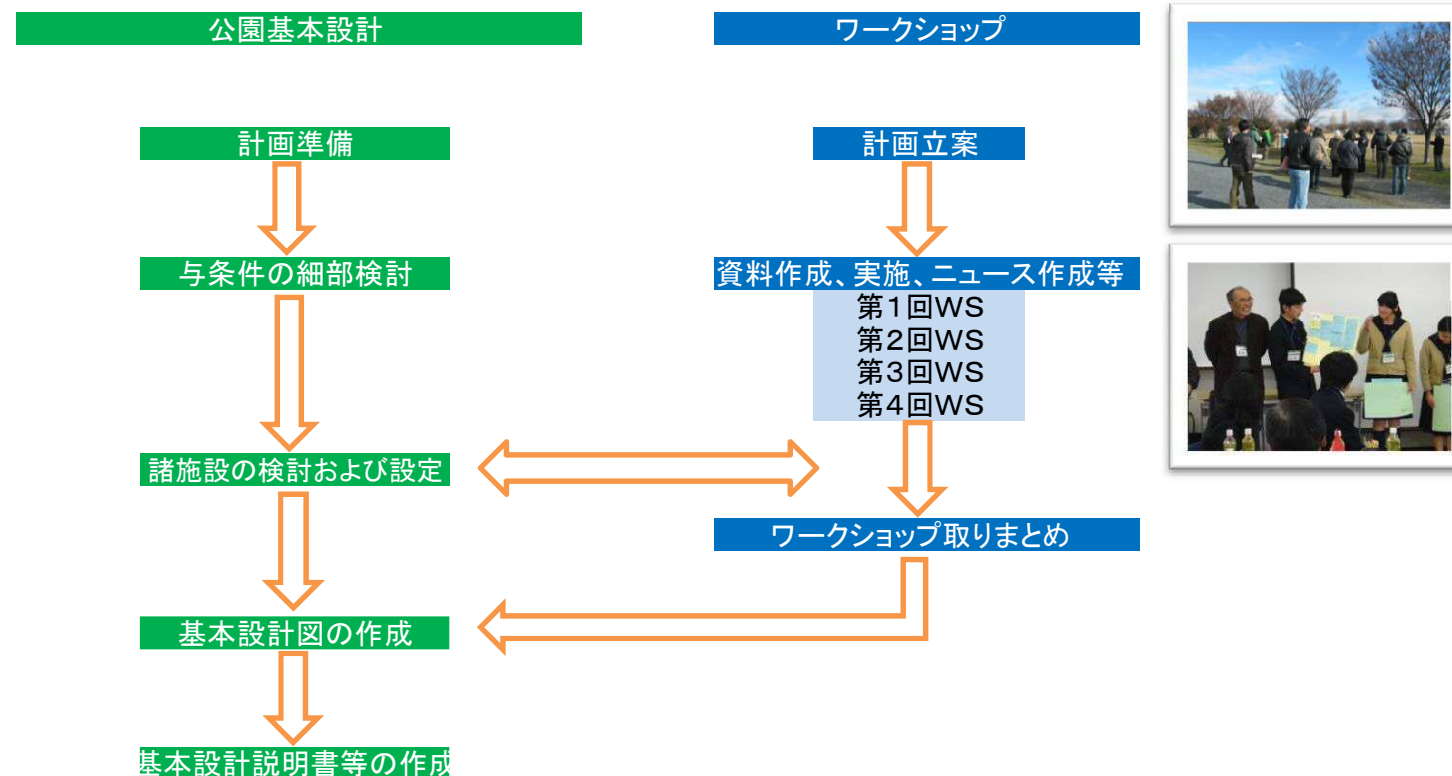
【1】業務概要

基本設計の概要

- 本設計は岡山操車場跡地における公園予定箇所の基本設計です。
- 平成25年9月から平成26年4月にかけて、総合公園の基本設計とワークショップを行いました。
- 基本設計の面積は、A=14.3haを対象としています(下図参照)。
- 基本計画の理念を継承するために既存成果の確認、現地踏査による敷地、現況施設の確認、隣接区域との連続性、現在の利用状況、活かすべき資質等の空間特性の把握を行った上で、課題を明らかにし、設計方針を設定、検討を行いました。また、計4回のワークショップを開催し、その結果を設計に反映させています。
- 設計に当たっては、施設や空間に求められる機能と適正な規模を念頭に置き、安全・安心やコスト縮減はもとより、岡山市を代表する公園としての景観形成、魅力付け、維持管理性、資源の有効活用等の観点から検討を行いました。
- その他、空間把握を高めるために、モデルを作成し、設計検討時やワークショップ等において活用しています。



【2】基本設計の業務フロー



【3】ワークショップの開催

ワークショップ計画概要

- 目的
岡山操車場跡地の開発コンセプト「人々が関わることで育まれる都市の森」のもと、様々な主体が参画するマネジメントによって本公園が利用され、また、育まれていくことが求められています。こうした中、本公園での利用・運営・管理に関する具体的な案出しや、それを可能にするための施設計画及び体制づくりについて意見、要望等を抽出して整理することを目的としてワークショップを実施し、基本設計に反映させることとしました。
- 参加者
次代を担う若い世代が参加するワークショップとなることに配慮しつつ、参加者は下記のとおり計画しています。
 - ・一般公募：市広報紙、市ホームページにより参加を募った一般市民(応募者総数20名)
 - ・地元代表者：地元自治会からの参加希望者
 - ・地元中高生：岡山大安寺中等教育学校、御南中学校、石井中学校からの参加希望生徒
- 各回の検討テーマ
公園に求められていること(参加者が公園でしたいこと)を把握するとともに、それを実現するための具体的なアイデア出し(何が必要か、自分たちでできることは何か)を行える場となるよう各回の検討テーマを計画しました。
 - ・第1回「私たちがしたいこと」(公園でしたいことについて)
 - ・第2回「夢を企画に」(したいことに対する実現のためのアイデアや自分ができることを検討)
 - ・第3回「夢を形に」(公園西側のエリアを対象に、配置したいモノや空間についてアイデアを出しながら、それらの配置について検討。)
 - ・第4回「イベントや活動などを企画してみよう」(公園でやりたい、または、あったら良いと思うイベントや活動について検討)
- その他
各回のワークショップの作業内容や意見を取りまとめたワークショップだよりを発行し、参加者や関係者に配布するとともにホームページにも掲載しました。



ワークショップ実施概要

	開催日時／開催場所／プログラム	参加人数	(参加人数内訳)
第1回	平成25年12月21日(土曜日) 10:00~12:00 (仮称)岡山総合医療センター現場事務所 現地見学、ワーク[私たちがしたいこと]、各班発表	16	公募 14 地元 2
第2回	平成26年2月1日(土曜日) 10:00~12:00 (仮称)岡山総合医療センター現場事務所 オリエンテーション、ワーク[夢を企画に]、各班発表	15	公募 14 地元 1
第3回	平成26年2月22日(土曜日) 13:30~15:30 岡山大安寺中等教育学校 多目的教室 オリエンテーション、ワーク[夢を形に]、各班発表	23	公募 13 中高生 10
第4回	平成26年3月8日(土曜日) 13:30~15:30 岡山大安寺中等教育学校 多目的教室 オリエンテーション、ワーク[イベントや活動などを企画してみよう]、各班発表	25	公募 12 地元 2 中高生 11
	合計	79	

【4】ワークショップにおける意見

第1回～4回までのワークショップの開催状況です。



ワークショップ意見(抜粋版) [設計方針とリンクするものを中心にピックアップ]

公園計画全体に対する意見

- ・老若男女、障害者、病気の方、ペットなど誰もが楽しめる空間
- ・福祉ゾーンの緑と一体になった公園
- ・北長瀬駅や、病院、ドームの建物と共に美しく生きる公園
- ・吉備の山々や吉備津などが連想できる伸びやかな公園

公園運営・管理において配慮する意見

- ・公園のブランドデザイン
- ・利用者が関われる空間づくり、コミュニティづくり
- ・イベントのクオリティを上げる
- ・遊ぶ森と育てる森を分ける(両者は緩やかにつなげる)
- ・遊び場を管理運営する人々の必要性

オープンスペース等で対応可能な意見

- ・ミニムンヘン(子どもが街をつくる)
- ・市(いち)
- ・食の祭典
- ・プレーパーク
- ・芝生広場でのアートフェス
- ・ホスピタルアート
- ・防活(防災)体験
- ・公園を一周することでいよされる遊歩道
- ・芝生でピクニック

施設を必要とする意見

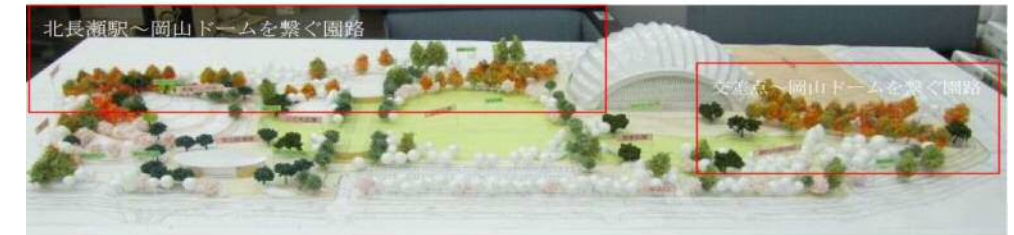
- ・水遊びができる水路
- ・じゃぶじゃぶ池
- ・走り回って遊べる丘
- ・どろんこになって遊ぶ場所
- ・土山
- ・大きな遊具
- ・ランニング、ジョギングコース
- ・まがりくねった並木の中の散歩道
- ・四季のポタジェ(野菜の庭)
- ・ハーブガーデン
- ・見晴らし台
- ・シンボルツリー
- ・ビオトープ
- ・ソーラー発電、風力発電
- ・ベンチを多く
- ・防災倉庫
- ・枝葉置き場、リサイクル施設
- ・オープンカフェ、レストラン

管理棟に関する意見

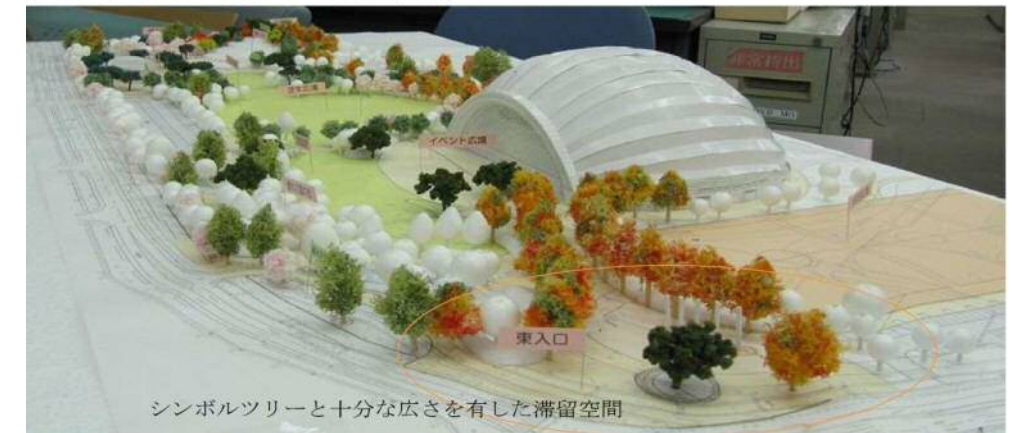
- ・サービスセンター
- ・ボランティアセンター
- ・フューチャーセンター(コミュニティワーカー等配置)
- ・雨でも楽しめる公園、全天候型
- ・遊び場の基地
- ・自然学習のできるスペース
- ・屋根付きテラス
- ・売店、キッチン
- ・道から見やすいシンボルになる建物

【5】模型によるスタディ

【玄関先・玄関口】主要エントランス



【西岡山駅前交差点～岡山ドームを繋ぐ園路】



【おもてなしの森周辺】



概要説明[3/3] 【6】平面計画および主要活用イメージ

【6】平面計画および主要活用イメージ

基本計画の理念を継承し、ワークショップにおける意見を取り入れ、その他諸条件の検討を経て、以下のように平面計画をまとめました。

癒しの庭

癒しや憩い、交流などの場として、見晴らしの丘からつづく地形変化の中で、花などにより華やぎと癒しの風景を演出する。



活動の森

散策や遊び、学びの場などの場として活用しながら、市民とともに育んでいく操車場跡地の緑の軸。

芝生広場

軽スポーツやピクニックなどの日常の利用から大規模イベントまで、多様な活動が展開できる芝生の広場。



交流の庭

市民による園芸や庭づくり活動の展開を想定する空間。市民アートの展開なども期待される。



鉄道の庭

列車の鑑賞や撮影などができる森の中の憩いのスペース。丘形状として見晴らしに配慮する。

見晴らしの丘

公園を見渡す丘で景色を楽しんだり、子ども広場や管理棟と一体となって憩いや遊びなどの場ともなる開放的な丘を創出する。



子ども広場

遊具を配した「遊びの丘」や、ニースの高い水遊びの場となる水景施設、土や砂遊び場などで構成される、幅広い年齢層の子どもが活動する広場。




多目的広場

子ども達のサッカーやソフトボールなど、スポーツ利用が可能な土の広場。イベントに供するスペースともなる。



イベント広場

岡山ドームと一体となってイベント等の活動の場となる広場。多様な用途や憩いの場としての機能面などに配慮し、舗装された広場と芝生広場で構成する。



管理棟（サービスヤード）

様々な主体が活動する公園の運営・管理拠点。また、遊びや休憩機能、文化活動など多様な活動に使える自由スペースなどを盛り込み、様々な利用者ニーズに対応する施設とする。

駐車場

第1、第2駐車場：一般乗用車 261 台分を確保し、日常的なイベントまでの利用に対応する。
第3駐車場：800 台規模の立体駐車場を整備し、大型イベント時などの利用に対応する。また、バスでの来園者やシャトルバス運行等に対応するスペースも確保する。